



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.83



10月

発行 / 社団法人国際観光施設協会
総務委員会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
2-8-5 多幸ビル九段2階
TEL03-3263-4844
FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp
URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2011年10月4日

まずは自分がしあわせになる 観光業界に生活している一人ひとりの姿 副会長 森 一朗

おこったり、かなしんだり、興奮したり、怖いおもいをしたり、自分についていない、不幸だ、だめだ、そんなときには、まわりが見えないもの、街歩きをしても、いろんなものが見えなくなるようになり、様々な発見があっても気が付かない。でも自分が幸せになると、周りが見えてくるとゆう。観光は光をみる、その光のわけを、いわれを、わかるようになるとさらに興味がわく。貧しくても幸せな生活に満ちている世界は、田舎や発展途上国の生活にもある。清潔で整頓されているのが観光の対象になることは多いでしょうが、わけわからなく混沌としている世界の魅力があります。そこにこそ無限の疑問と興味を満足させてくれる世界があるという先日ある会合で幸せなおかーさんにあった。

彼女の名前は高橋美江さん、職業は絵地図師、名刺には[真面目に不良]とある。ねっからの楽天的、シアワセそうなおひとでした。彼女は日本全国の絵地図を描きまくっているとゆう。街のごみ箱一つにも、疑問を見つけ、その歴史やいわれを発見し、みごとに絵地図にそのいわれを記録してしまい、?を!にかえる。

それが観光の極意と、イラストをまじえ地図を見る人の知的レベルにたちもどって、町を観光地を解説する。おおくの町のお寺巡り地図や東京下町散歩では柴又、高輪、王子、月島、深川、亀戸、谷中ときりが無い。200ヶ所以上も書きまくっているとゆう。すべて日本語でも、これが韓国語や中国語そして英語で書かれて外国のエージェントに置かれていれば、外国人も日本の隅々や普通の生活の中に観光をみつけることになるのではないが。

つまらないとおもえるシャッターの閉まっている温泉商店街も、こんな絵地図で解説されると生きかえるかもしれない。どっかでチャレンジしてみませんか。不幸からうまれる幸せは、ふりことおなじで、大きな不幸には大きな喜びを感じるもの、平和なまちには大きな不幸もないかわりに大きな喜びもないとゆう。

今日の日本の自然からの試練や国際経済からの試練をも、私たちは自信をもって現状をより大きな幸せを獲得できるチャンスと、とらえたいと思います。それにはまず自分が幸せだとおもいこむことからはじまると?

技術委員会の活動状況と今後の予定

技術委員長 鈴木 裕

このたびの東日本大震災で被災された皆様にはここからお見舞い申し上げます。

未曾有の大災害にあたり当協会では観光を軸とする復興のお手伝いをしたいという趣旨で第一回現地視察を行いました。

視察に先立ち行ったブレーションミーティングでは、宮古から南に展開するリアス式海岸を連続した観光地域としてとらえ、世界遺産平泉、国際空港の花巻及び商業都市盛岡を結ぶ地域と連結した国際的観光圏として再生させるべきだとの意見が出ました。

被災地域の復興に当たっては住民の生活の根拠たる地域経済が成立することが大前提であります。従来型経済による生活に根ざした施設郡を美しい景観の観光交流空間に再生することが基本ではありますが、それに加えて、絶景の地に新しい魅力的観光施設を建設することで新しい経済的価値を創造することも考えられます。また、南北リアス式海岸地域を連絡するユニークで魅力的な鉄道及び海上交通の整備も大変重要なポイントだと考えられます。今回は盛岡から宮古に入り松館課長を始めとする宮古市産業振興部商業観光課の皆様にご情報を伺うとともに意見交換をしました。

現在ようやく復旧のめどが付き始めた段階であり、行政サイドとしては年内に復興計画のまとめを行いたいとのことでした。当協会もそれまでの期間に議論を重ね復興のお役にたてる構想をご提案したいと考えております。

建築部会の活動状況とこれからの予定

森 一朗

サロン建築部会2011年度第1回は7月13日午後7時江戸時代からあるのではないかと思われる湯島の倉の屋根裏部屋でおこなった。当日のゲストスピーカーは森一朗さん。集まった6名はそれぞれ自分の分の飲食持参で会費1500円、いつもと違った雰囲気気で部会員相互の親睦はいつになく高まり時間の経過を忘れる始末でした。

ことしは建築部会の幹事同士が本業でなにをやっているか理解できるように各自がスピーカーになり、会場も都内の人気隠れ家を見つけ、そこで開催していくことにした。これから隔月程度に開催していきます。次回は11月予定

設備部会の活動状況とこれからの予定

横山 豊

設備部会は所属会員で構成される二つのワーキンググループ(WG)の活動を前年度より引き続き行ない、保全WGは「旅館・ホテルの設備保全マニュアル」の第4回目を観光施設4月号に、最終回を7月号に発表いたしました。環境WGは4月と9月に開催し、環境問題の研究を行ないました。又6月には環境負荷低減に優れたトリトンスクエア施設の見学会を行ないました。設備部会幹事会はWG開催と同日開催で既に2回開催し、協会活動報告、WG進捗の確認及び情報交換を行いました。

今後の予定は、10月にTOTOテクニカルセンター見学会、12月に設備部会幹事会及び環境WGを、2月に都心のオアシス Shinagawa Goos (旧ホテルパシフィック ル・メリディアン)の見学会を予定しています。

インテリア部会の活動状況とこれからの予定

佐藤英嗣

「今年も各グループが活発に活動しています」

平成23年度は、“企業見学会”は、順延されていた照明家 豊久将三氏の工房見学とセミナーを4月に開催。“施設見学会”ではホテルアワーズイン阪急の見学を4月に開催いたしました。3.11の大震災による緊急テーマとして、“新情報発信研究会”にて節電への対応策「エネルギー削減は、サービス低下につながるか？」をIBMの三村経親氏を講師に7月に開催。この後“セミナー”は震災復興に向け、曹洞宗住職であり庭園デザイナーとして活躍している柘野俊明氏を講師に「今、何を考え、何をすべきか」をテーマに11月1日にパナソニック電工にて開催を予定しております。ぜひご参加ください。

本年度も、この4グループの活動を基盤とし、企画協議を通じた相互のコミュニケーション向上と、企画実行による最新の施設・情報・知識等の共有を推進します。所属会員の方は、企画段階の協議からご参加戴き、会員相互の交流を深めましょう。

平成23年度下半期(10月～3月)主要行事

1. 講演会・忘年交歓会 (予定)

日程 平成23年12月1日(木)16時～19時

場所 コートヤード・マリオット

銀座東武ホテル

今年は東日本大震災により国難ともいべき未曾有の災害を被りました。そこで、忘年交歓会と合わせて復興絡みの講演会(16時～17時)を企画いたしました。

講師：藻谷 浩介氏

(株)日本政策投資銀行 地域振興グループ

地域支援班 参事役

復興構想会議 検討部会 専門委員として地域の立場にたって問題点を解析し提言をおこなっておられる方で、現在は全国で年間400回以上の講演をこなす注目の人です。詳細は追ってご連絡いたします。忘年会とあわせてご参加を！！

2. 賀詞交歓会

日程 平成24年1月10日(火)11時～12時30分

場所 ホテルメトロポリタンエドモント 3階千鳥

3. 第40回国際ホテル・レストラン・ショー

(三展合同展示)

協会特別企画

「第3回エコ達人村の相談デスク&セミナー」

日程 平成24年2月21日(火)～24日(金)

場所 東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場)

新入会員紹介 (入会順)

【メカ】 三菱電機株式会社

(代表者)

(担当者)

環境ファシリティ営業推進部 環境ファシリティ営業推進部

部長 津瀬保彦 営業グループ担当部長 土田 誠

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル

TEL03-3218-4714 FAX03-3218-9164

業務内容：電気機械製造業

【個人】 鈴木泰治

〒180-0011 東京都武蔵野市八幡町3-5-9-901

TEL0422-53-1512

第98回ゴルフ会のご案内

秋のゴルフ会を2011年10月26日(水)に『相武カントリー倶楽部』(東京都八王子市)にて開催致します。前回大会は震災の影響も考慮した結果、中止にしましたが、今回は名門コース予約しました。

開催されるコースは都心からも近く、電車でも便利なところです。まだ人数にも余裕がございますので皆様お誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしております。(プレイ費 約19,500円、会費4,000円)

新公益法人移行に関する経過報告

平成23年度総会で決議されました新公益法人への移行について、申請書類の作成等準備が整いましたので、8月31日、内閣府公益認定等委員会に公益社団法人への移行認定申請書を提出いたしました。

今後の計画は、内閣府公益認定等委員会による審査の結果に基づき、直ちに必要な手続きを行い、可能であれば平成24年の新年度より、新たな法人として発足したいと考えております。新公益法人移行事務局